

# 山陰 五十猛 だより 夏号 VOL.17

和田珍味本店のレストスペースから望む、夏の日本海も青くキラキラ輝いて最高の季節になりました。夕方には、まあいい太陽がゆらゆら沈んでいく様子もとても綺麗です!! 国土交通省「とるは」で人気ランキング1位に光輝いた景観でもあります! 特にお客さまに今が1番綺麗にご覧いただけますよ(5月末~7月初旬) お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さいませ★

今回も暑い夏に負けない情熱、ご厚情にお届けしますので、最後までどうぞよろしくお願い致します。



## 和田珍味本店10周年をむかえて

インタビュー  
特集!!!



五十猛だよりをお届けする、和田珍味本店は今年4月30日をもって、10周年を迎えました。これもひとえに、いつもご愛顧いただいているみなさまのおかげです! 心から感謝申し上げます。m(-\_-)m  
今回は「ふるさと風景」をお休みいただき、いつもとはちょっと違う、特別インタビュー形式で進行していきます。和田珍味の代表、和田信三社長に直接インタビュー!! たのこ金銀子が和田社長に和田珍味本店ができるまでの歴史を聞きました。

おまかせおまかせ

### ① 和田珍味本店の恵みを教えてください

お店を持つということは、わたしの父(先代・和田正治)が行商をしていた頃から抱いていた夢であり、目標だったんですよ。一般的には「ふる」の本場は下関と言われていますし、山陰でいう産地ブランドは「浜田」があります。それぞれに対抗し、ブランド化するために「本店は糸色対にやらなければならぬものだ」と思いました。



### ② すぐにお店は完成したのでしょうか

小売をすること自体、経験のないことで、色々とお悩みましたが、「おれならやる!」という父の後押しもあり、「こりゃ〜やらないうけん!」と決意しました。地元の五十猛漁協が所有していた1500坪の土地を譲っていただき本店をオープンするまで10年かかりました。途中、設計士を変えてお店の設計図を白紙にし、作り直したこともあります。その間、全国の有名な直営店に足を運び「納得がいくまで学べる場所がないか見て回りましたよ!! 決して短かい期間とは言えませんが、多岐は一切わたしの中でありませんでした。

### ④ 五十猛便りの読者様に何か一言、意気込みはありますか

今後も和田珍味がみなさまへ「うまいもん」を品質第一をモットーに作り続けることはもちろんですが、一生懸命つくる商品とともに、全国に情報を発信していきたいと思っています。ここ、五十猛町はスサオ伝説の神島があるように、歴史と国土交通省「とるは」の全国人気ランキング1位となった素晴らしい景観があります。

そして、ご来店いただいたお客様が「来てよかった、また和田珍味に行きたい」と思っていたいだけのようにお客様を大切にお迎えます。

今後もみなさまに愛される和田珍味を続けるため、社員・スタッフ一同がんばりますよ!!

がんばりましょうね! 社長! ついていきますよー!!



今後も和田珍味本店、  
よろしくお願い致します

### ③ 和田珍味本店は社長こだわりのお店ですね!

もちろんそうです。開店半年前、地元の方10人をモニターとしてお願いし、45回モニター会を行いお客様の「生」の声を集めました。また販売スタッフは開店1ヶ月前から地元大田市に住まわれる方の自宅へ軒下軒下ご挨拶に伺い、「ぜひ、ご来店ください!」と和田珍味本店オープンのお知らせを案内しました。

開店まで、連日死ぬ思いで作業をしたので、間に合せて安心しました。当時スタッフだったメンバーをはじめ、地元の皆さまのご理解、ご協力があっておかげです。開店の前日は徹夜となり、開店1時間前まで商品を陳列していました。オープン初日は予想より多くのお客様にご来店いただき感謝の気持ちでいっぱいでしたよ。

